

さっぽろっ子「学び」のススメ

【幼児版】

さっぽろっ子「学び」のススメ
は、子どもと家庭、子どもと園、
園と家庭をつなぐとともに、子
どもの権利を大切にするものです。



子どもは、どの子どもよさや可能性をもっています。

大人は子どもを他の子どもと比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。

幼稚園・こども園・保育所で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める

共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

幼稚園・こども園・保育所も、家庭も

まほうのかいわ

で学びの土台づくり



ま

毎日の「遊び」で
楽しかったことを振り返り
共感しましょう。

ほう

方法に気付くように、
一緒に考えましょう。

の

伸びを一緒に喜び、
ほめましょう。



かい

改善する気持ち（意欲）
をもてるように、生活を
一緒に振り返りましょう。

わ

わかったこと、できた
ことを認め、もっと挑戦
できるようにしましょう。



SAPP
RO

札幌市教育委員会

【さっぽろっ子「学び」
のススメ】【幼児版】



【さっぽろっ子「学び」
のススメ】【小中版】



さっぽろ市
02-S02-25-270
R7-2-192

幼稚園・こども園・保育所



まほうのかいわ

を合い言葉に、学びの土台づくり！

連携

「遊び」は、幼児にとっての「学び」です！

家庭



大

切

な

5

つ

の

ポ

イ

ン

ト

「遊び」に没頭する中で気付いたことやわかったことを生かす力を伸ばします。

自分で「遊び」を進める方法や、友達と一緒に遊ぶ方法を身に付けられるようにします。

自分でできたことに喜びを感じ、新たな目標をもてるようにします。

生活の中で、自分のことは自分でできる力を育みます。

いろいろなことに挑戦する意欲を伸ばします。

札幌市は、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる園づくりに向けて、「子どもの声を聴く」ことを大切にし、幼児教育を推進していきます。
「子どもの声を聴く」ためには、「子どもの気持ちに寄り添う」ことが大切です。

～子どもの気持ちに寄り添うために～
子どもの気持ちを「受け止める」ことから始めませんか。

毎日の「遊び」で楽しかったことを振り返り共感しましょう。

ま

子どもの気持ちや思いを **受け止める** ためには？

「その気持ち、わかるよ」「一緒にお話ししようか」「いつもそばにいるよ」
～笑顔で安心～

子どもの興味・関心に **気付き、認める** ためには？

「～が楽しいんだね」「～が好きなんだね」「～ができるようになりたいんだね」
「体を動かして遊ぶと、気持ちがいいね」「すごい、自分で考えたんだね」
～じっくり見つめて～

子どもの意欲を **支え、育む** ためには？

「こうしたら、うまくいくんじゃないかな」「自分の方法で、やってごらん」
「おもしろそうだね。どうやってできるか教えてくれる？」
「失敗しても、やり直せばいいよ」
～一緒に面白がって～

方法に気付くように、一緒に考えましょう。

ほう

伸びを一緒に喜び、ほめましょう。

の

改善する気持ち（意欲）をもてるように、生活を一緒に振り返りましょう。

かい

わかったこと、できたことを認め、もっと挑戦できるようにしましょう。

わ

情報機器（ICT）を活用して、遊びを **広げ、深める** ためには？
「一緒に～のことを調べてみようか」「写真やビデオを撮ってみんなに知らせよう」
「（撮ったものを見ながら）ここが素敵だね。こんな工夫をしたんだね」
「あと一つ見たら、おしまいだよ」

おうちの人と一緒にやりたいことやがんばりたいこと

一年間を振り返って（おうちの人から）

